

「月のもう一つの顔」

Another Side of the Moon, 2018

In my work I combine portraits of women Geiko, Maiko and my two daughters with cascades of flowers and petals. My subjects interact with nature to render an ephemeral, fleeting and melancholic feeling to the viewer.

They flow harmoniously, in an evanescent atmosphere. I have been listening to my perception of beauty or melancholy which springs from the natural passing of Seasons. My art is an emotional research into the symbolism of "Mono no Aware". The themes of life & death, of presence & absence, of human emotions, of spirituality, of memories are key topics which are dear to me.

I have always been intrigued by the power and mystery of the moon and by the sun as a light source, fascinated by their continuous change of reflections. In "月のもう一つの顔 Another Side of the Moon" I focus on the moon as a metaphor and a great source of inspiration.

Elenashirin

「月のもう一つの顔」2018

私の作品では、枝垂れた花や花びらと芸妓・舞妓の女性や二人の娘たちの写真を組み合わせています。私の主題は見る者に対し、はかなさや刹那さ、そしてもの悲しい印象を与えるような自然物に相互作用しています。

それらは、はかない雰囲気の中に調和して流れます。季節の自然なうつろいから、とび表れるもの悲しさや、私の美意識に耳を澄ましています。私のアートは「もののあはれ」を象徴するような感情の省察です。死生観、存在や非存在、人間の感情、精神、記憶の論題は私にとって大切なキーワードです。

私は月の力と神秘性や光の源としての太陽にいつも興味を引き付けられ、それらの連続した反射の変化によって魅了されている。「月のもう一つの顔」のなかで、私は隠喩やインスピレーションの源流として月に着想します。

--

Elenashirin Fine Art Photography

エレナシリン

<http://elenashirinfineartphotography.blogspot.ch> 「 ブログ 」

<https://www.facebook.com/elena.shirin.fine.art.photography> 「 フェイスブック ページ 」

エレナシリ

スイス南部ティチーノ州(スイスで唯一のアルプス山脈南部の州、イタリア文化)で生まれ育つ。スイス・ルガーノの CSIA(産業アートの大学)でインテリアの学位、視覚芸術教員の資格を取得。アーティストとして、また教師としてスイスの大学でファインアートを教える。文化の多様性、東洋美術に関心があり、それをモチーフの絵画と写真を組み合わせた作品が多い。また、ファッション、ストリートパフォーマンス、舞台業界等、スイスを中心にイタリア、イギリスでも活躍。

エレナシリ

個展

2009年 International Galeria M (Wrocław、ポーランド)、「Metamorphosis」

2010年 International Biennial of Miniature Art (Częstochowa、ポーランド)、「Maharaja's Sigh」

2012年 Spazio Espositivo Numa Del Parente (メンドリシオ、スイス)、「The Fabric of Memories」

2012年 Art Café-Kanka 閑花 (大阪市)、「Un Jardin des Signes: A Garden of Traces」

2012年 橋画廊 (大阪市・東京市)、「A Cicada Singing in the Night」

2013年 芝田町画廊企画 (大阪市)、「思い出の布」The Fabric of Memories: Under the Falling Cherry Blossoms

2015年 芝田町画廊企画 (大阪市)、「Rope」

2017年 レストラン・モンタルバノ (スタビオ、スイス)、「水の日記」Water Diaries

略歴

スイス南部ティチーノ州(スイスで唯一のアルプス山脈南部の州、イタリア文化)で生まれ育つ。

1976年スイス・ルガーノの CSIA(産業アートの大学)でファインアートの学位、視覚芸術教員の資格を取得。

1973~1980年アーティストとして、また教師としてスイスの中学校でファインアートを教える。

1980~現在 文化の多様性、東洋美術に関心があり、それをモチーフにした絵画と写真を組み合わせた作品が多い。また、ファッション、ストリートパフォーマンス、舞台業界等、スイスを中心にイタリア、イギリスでも活躍。国際にファインアートの活動に加わる。

2010年北インド、アメダバードで Artist in Residence プログラムに参加。細密画を修学。

2010~現在 日本で活動を始める。

私の作品では、絵画と融合させた写真を用いて物語を表現しています。それは絵画と写真の境界をぼかすことで、私は夢から現実へと切り離された境目を近づけています。私は、世界中を旅しているときに魅了されたもの、私自身に意味深い記号として残されたものが、重要で目にとまる控えめな日常の物語であると信じています。誰もが皆、自分自身に語りかけるイメージや視点をひとつの物語としてもっています。

私の作品は、哀愁を豊かな彩色や黄金色の希望に形を変えるように、現実の夢を見出だします。私の精神や、生まれ、生い立ちに在るものは、南スイスの自然とヨーロッパの伝統の古い絵画から湧き出た心のイメージから引き出され、芸術的な音色になって浮かび上がります。自然の顔料や塗料、金や銀箔、油彩や漆は、独創的な試みのひとつとして写真と組み合わせて使われています。